

農林水産商工常任委員会提出資料

(平成30年2月26日)

| 項目 | ページ |
|---|-----|
| 1 2月4日からの大雪による農作物の被害状況について 【とっとり農業戦略課、生産振興課】 | 別紙 |
| 2 鳥取県農業活力増進プランの改訂案について 【とっとり農業戦略課】 | 別紙 |
| 3 「先駆的木造建築シンポジウム」の開催結果について 【県産材・林産振興課】 | 1 |
| 4 韓国での観光物産展及び香港、タイでのレストランフェアの 開催について 【販路拡大・輸出促進課】 | 3 |
| 5 首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の 運営について 【販路拡大・輸出促進課】 | 5 |
| 6 「とっとりジビエ」の全県展開について 【食のみやこ推進課】 | 13 |
| 7 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課、水産課】 | 14 |

農 林 水 産 部



「先駆的木造建築シンポジウム」の開催結果について

平成30年2月26日
県産材・林産振興課

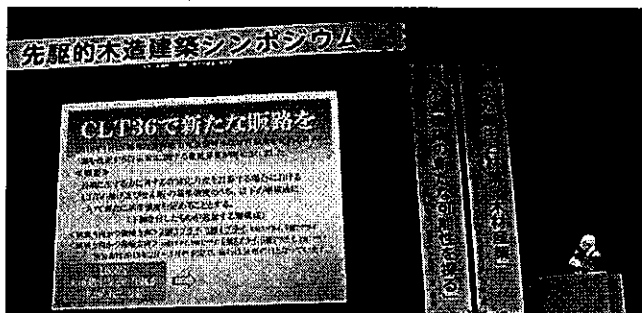
鳥取県産材を使用したCLT（直交集成板）やLVL（単板積層材）などの新たな製品や技術を活用した木造建築を進め、本県林業・木材産業・建築関連産業の振興に資することを目的として、新国立競技場の設計に参画された建築家の隈研吾氏を講師にお招きして、1月26日（金）に「先駆的木造建築シンポジウム」を開催しました。

- 1 開催日時 平成30年1月26日（金）午後1時～4時
- 2 会場 とりぎん文化会館 梨花ホール
- 3 主催 鳥取県
- 4 後援 国土交通省、林野庁
- 5 来場者 設計・建築関係者、林業・木材産業関係者、行政関係者、一般県民等、県内外から約1,000名が来場

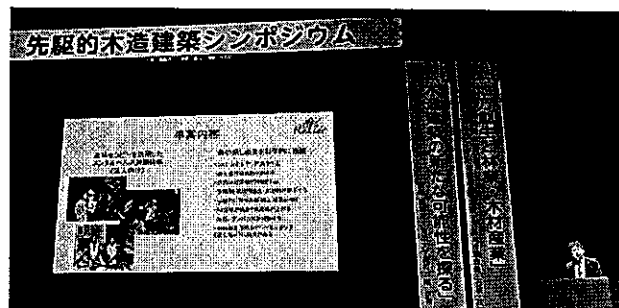
6 概要

(1) 県産材製品のプレゼンテーション

協同組合レングス（西伯郡南部町）の中西理事長による、県産材を活用したCLTのPR、株式会社ルリエ（八頭郡智頭町）の松本代表取締役による、智頭スギを活用したオフィス家具のPRを行いました。



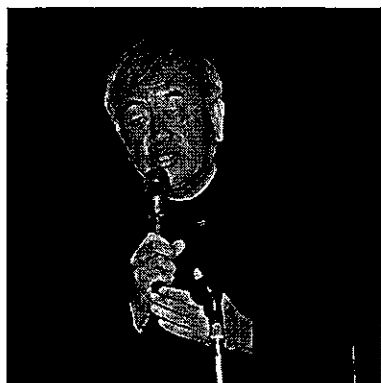
自社のCLTをPRする中西理事長。



オフィス家具開発の経緯を説明する松本社長

(2) 基調講演

隈先生からは、「木造建築の新たな可能性を探る」を演題に、これまでに国内外で取り組まれた設計・建築事例を御紹介いただくとともに、『木材をはじめ地域の素材を活用し、地域の風土に合った設計を行えば、多くの人々が集う建築物になる』、『鳥取の文化を踏まえれば、鳥取の良さを、木材を中心にして世界に発信していくことは夢ではない』などのメッセージをいただきました。



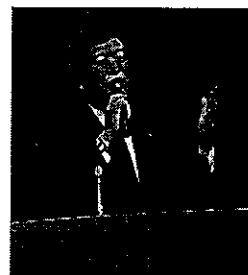
木造建築の良さを語る隈氏



梨花ホールの約1,000人の来場者

(3) 特別講演

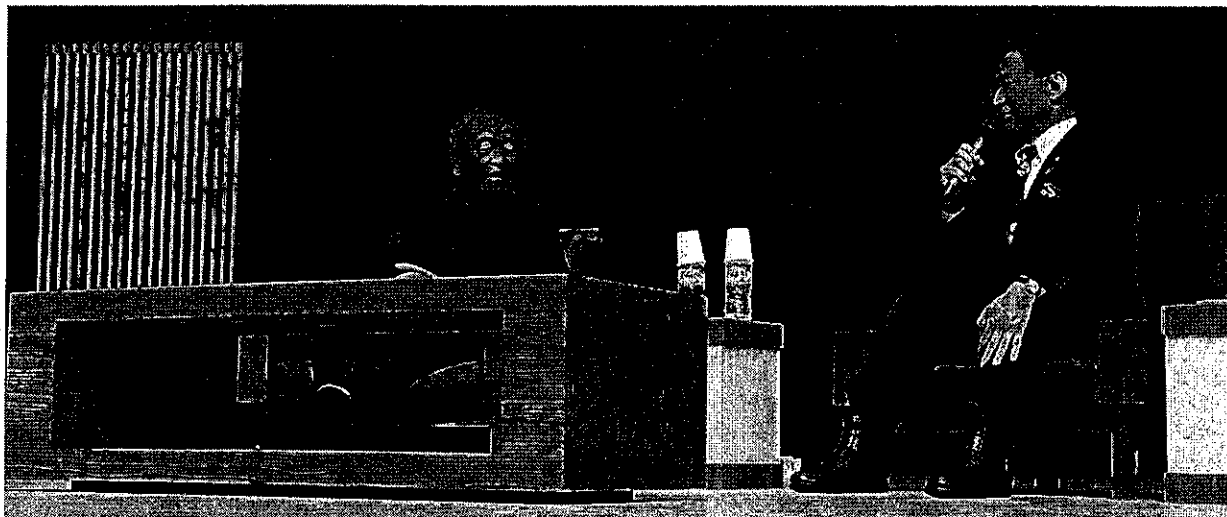
石破茂衆議院議員からは、「地方創生と林業・木材産業」を演題に、『日本は国土の7割が森林であり、林業の再生なくして地方創生はない』、『山が金を産むようになることが必要であり、そのためにはCLTの活用や木造建築の普及が大きな要素となる』とのメッセージをいただきました。



(4) 隈研吾氏と平井知事の対談

「鳥取県ならではの魅力ある建物づくり」をテーマに、隈氏と平井知事に想いを語っていただきました。

平井知事の『CLTやLVLをはじめ、身近な材をどんどん使っていきたい。県産材を使った戸建住宅への支援により、県産材の利用推進に取り組んでいる』との発言に対し、隈氏からは『小さい頃から県産材の家に住むことができる環境は素晴らしい。鳥取の魅力は山の豊かさにより育まれた木材の良さであり、建築に活かしてほしい』との御意見をいただきました。

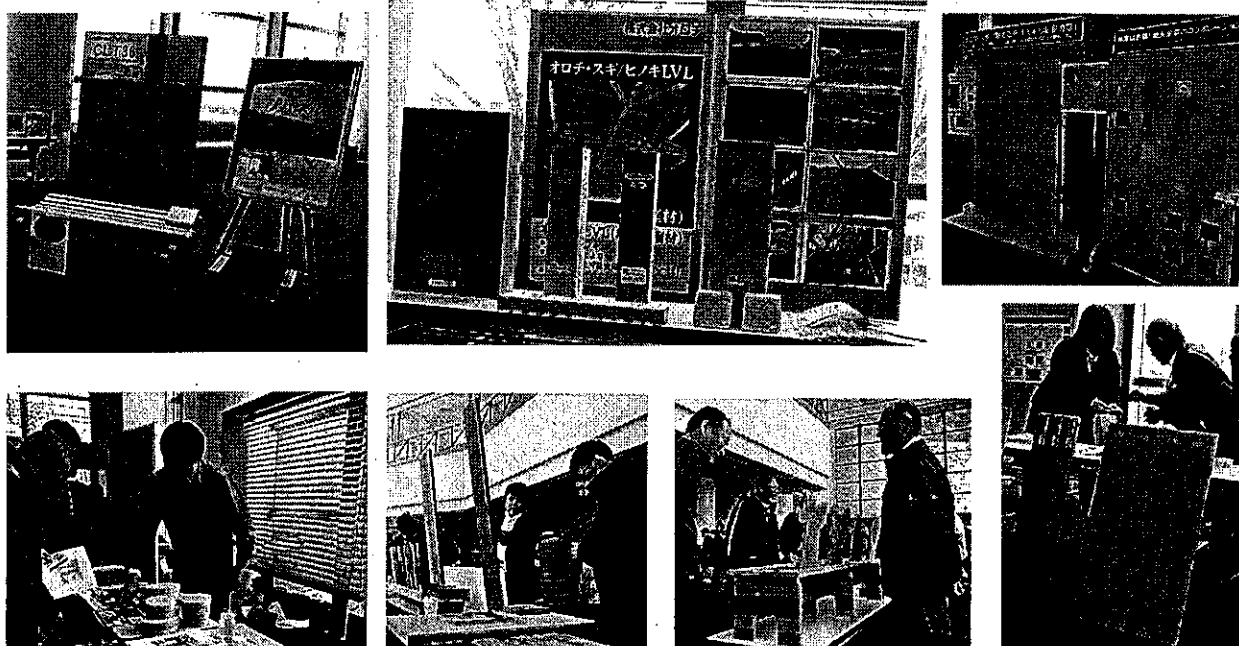


智頭スギを活用して製作された家具に囲まれ、木材への想いを語る隈氏と平井知事

(5) 県産材製品展示会

鳥取県産材を活用した構造材、内装材、家具などを展示し、関係者自ら来場者に製品をPRしました。

出展者：(協) レングス、(株) オロチ、智頭町森林組合、(株) サカモト、(株) ルリエ
(株) ウッドファクトリー、米子工業高等専門学校
鳥取県木質内装材開発・販売推進協議会、鳥取県林業試験場



韓国での観光物産展及び香港、タイでのレストランフェアの開催について

平成30年2月26日
販路拡大・輸出促進課

県産品の輸出拡大と海外からの誘客促進を図るため、下記のとおり現地でのプロモーション事業を実施しました。

記

1 韓国での観光物産展

- 韓国の老舗百貨店「新世界（シンセゲ）」において、食のみやこ鳥取県の各種産品を販売するとともに、米子ソウル便の増便や大山開山1300年祭等の観光情報をPRした。
- 福島原発事故以降、韓国内で日本の自治体フェアはほとんど開催されておらず、新世界百貨店での日本の自治体フェア開催は7年ぶりだったが、お客様の反応はよく、売上げも目標金額を上回ったことから、新世界側から継続開催の打診をいただいた。

【観光物産展の概要】

催事名 TASTY TOTTORI
開催期間 平成30年1月18日（木）～24日（水）7日間
開催場所 新世界百貨店・本店 地下1階 食品売場催事場
出展内容 ①鳥取県産品の販売
②観光PR（ビデオ放映、観光パンフ・旅行商品ピラ配布）
③着ぐるみとの写真撮影会（1/19（金）～21日（日）実施）
販売商品 大山乳業のアイスクリーム等 計13社 約50品目



会場の様子（大山乳業商品の販売エリア）

2 香港でのレストランフェア

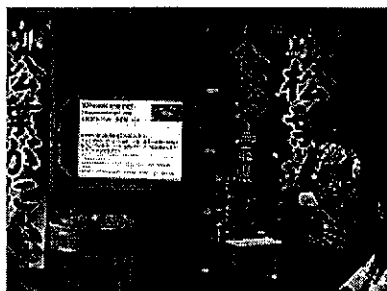
- 香港での「食のみやこ鳥取県」の認知度向上及び食による観光客誘客のため、レストラン3店舗において、鳥取のカニをメイン食材とした料理を提供中である。
- 1月31日（水）にはメディア13社を招聘したキックオフイベント（試食会）を開催し、本県産食材のPRとレストランフェアの周知を行った。

【レストランフェアの概要】

開催期間 平成30年1月26日（金）～2月28日（水）

実施店舗及び内容

| | | |
|------|---|---|
| 店舗名 | 豊洲水産海鮮丼専門店（2店舗） | 割烹 檜杏 |
| フェア名 | 「鳥取丼フェア」 | 「鳥取県」×「熊本県」コラボフェア |
| 料理 | パズワガニを使った ①海鮮丼2種 ②お灸 ③巻き寿司 | ①松葉がに1杯を使ったかに料理 ※予約制 ②パズワガニを中心とした会席料理、単品 ③若松葉がに1杯を使ったかに料理 ※期間限定 |
| 使用食材 | 鳥取県産蟹をメイン食材とした本県産食材及び飲料 松葉がに・若松葉がに、パズワガニ、赤カレイ、農産加工品、日本酒 | |
| その他 | ・ポスター・装飾、食・まんが・観光パンフレット配架、ディスプレイモニターでの観光PR ・SNS（フェイスブック等）を活用した情報拡散 ・来場者へのアンケート調査 ※抽選で1組に米子香港便のペアチケットプレゼント | |



メディア試食会の様子①



メディア試食会の様子②



檜杏の会席料理

3 タイでのレストランフェア

- バンコク市内の高級レストランにおいて、県産農林水産物を活用したレストランフェアを初めて開催し、業務用食材としての販路拡大を図るとともに、来店者に県産食材のブランドイメージ定着を図った。
- フェイスブックを活用したPR等を実施し、メニューでは、鳥取和牛サーロインステーキ、紅ズワイガニと蟹味噌のサラダ、紅ズワイガニと蟹味噌の甲羅焼きなどが好評であった。

【レストランフェアの概要】

実施期間 平成30年1月30日(火)～2月11日(日) 13日間

実施店舗 バンコク市内4店舗(グリル東京、日本亭プレジデントタワー店、みざき、狐のおうどん)

メニュー 鳥取和牛(ステーキ・石焼き・握り寿司など)、紅ズワイガニと蟹味噌の甲羅焼き、紅ズワイガニと蟹味噌のサラダ、紅ズワイガニラーメン、はまちの照り焼きねばりっこ掛け、干し柿とあずき巻き など 4店舗 延べ49メニュー

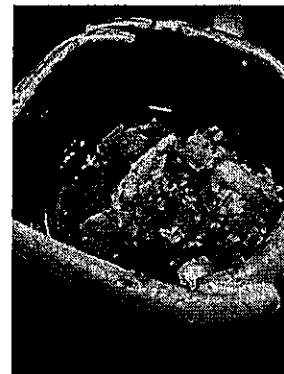
使用食材 鳥取和牛、カニ加工品、鮮魚、ねばりっこ、王秋梨、日本酒等



紅ズワイガニと蟹味噌の甲羅焼き
(グリル東京)



鳥取和牛の紙なべ
(日本亭)



紅ズワイガニと蟹味噌和え
(みざき・狐のおうどん)

- また、レストランフェアの実施前に、輸入会社をはじめとした関係者と県産食材を活用した料理の試食会を開催し、販促活動の参考となるメニュー提案を行った。

参加者からは、レストラン等への営業時の具体メニュー提案に大変参考になると好評であった。

実施日時 平成30年1月26日(金)

実施場所 グリル東京(バンコク市内)

参加者 現地輸入会社等 5社

使用食材 鳥取和牛、カニ加工品、ねばりっこ、干し柿等



PR試食会の様子

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の運営について

平成30年2月26日
東京本部
販路拡大・輸出促進課

鳥取県と岡山県が共同で運営している「とっとり・おかやま新橋館」が開館後3年半経過したことから、その取組状況等について以下のとおり報告します。

1. これまでの取組状況

(1) 設置概要

- ア) 所在地：東京都港区新橋一丁目11-7 新橋センタープレイス1、2階
- イ) 面積：941.35㎡（1階354.01㎡、2階587.34㎡）
- ウ) 設置時期：平成26年9月28日
- エ) 主な機能：物販店舗、飲食店舗、催事スペース、観光・移住コーナー、ビジネスセンター

(2) 入館者数

入館者数は年間約50万人程度で漸増している。

| 区分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 人数 | 159,202人 | 483,400人 | 503,234人 | 509,180人 |

(3) 売上金額

売上金額は年間3億5,000万円程度で漸増している。

| 区分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上金額 | 101,206千円 | 343,661千円 | 351,500千円 | 354,692千円 |
| うち物販店舗 | 75,464千円 | 251,310千円 | 263,549千円 | 267,497千円 |
| うち飲食店舗 | 25,742千円 | 92,351千円 | 87,951千円 | 87,195千円 |

(4) 物販店舗の取組：1階

新鮮な果物や加工食品など、常時1,600品目を店内に陳列し、年間を通じて鳥取県と岡山県の旬を途切れることなく提供している。

【主な特産品販売・フェア開催の例】

1月：福袋（大山ハム、備前焼等）、2月：岡山野菜フェア、3月：レディースシーズフェア、4月：パルコスバッグフェア、5月：らっきょう販売、6月：スイカ販売、7月：白桃販売、8月：二十世紀梨販売、9月：新甘泉販売、10月：デニム販売、11月：親がに販売、12月：干し柿販売

(5) 飲食店舗の取組：2階

「鳥取和牛」、「紅ズワイガニ」、「スイカ」、「梨」などの鳥取県を代表する食材を使った様々なメニューや限定スイーツ、鳥取県の猪肉と岡山県の鹿肉を使ったジビエフェアなど、旬の食材や特色のあるメニューを提供している。

【特産品PRでの主なフェア例】

1月：パクチーフエア、2月：ジビエ料理フェア、3月：鳥取県産きぬむすめフェア、4月：ご当地バーガー食べ比べ、5月：鳥取県産プリンズメロンパフェ（星取県イベント）、6月：スイカフェア、7月：白桃フェア、8月：ぶどうパフェ、9月：梨とぶどうのパフェ、10月：ねばりっこ、パクチー料理講習会、11月：柿メニュー、12月：カニフェア

【主な鳥取県と岡山県のコラボ商品】

- ◆ももてなしソフトクリーム（二十世紀梨、白桃）
- ◆梨と桃のパフェ（二十世紀梨、白桃）
- ◆梨とぶどうのパフェ（二十世紀梨、ニューピオーネ、シャインマスカット）

(6) プロモーションゾーン：正面玄関入口右側

入館者の反応や生の声を聞きながら販売する「直接販売」の他、観光・特産品のPRや高校の学習体験などに利用できるスペースを提供している。

（延べ利用日数：全体813日、鳥取県関連463日）

【活用例（鳥取県分）】

- ・スイカ、梨等の旬の果物の試食販売
- ・すめ糺漬、二十世紀梨ゼリー、二十世紀梨ドライフルーツ等の加工食品の試食販売
- ・弓浜緋等の伝統工芸のPR販売
- ・倉吉農業高校、鳥取湖陵高校、米子南高校等による販売実習
- ・大山開山1300年祭、関金温泉開湯1300年等のPR

(7) 催事スペース：2階奥

物販やPRイベント、説明会などに使用できる多目的スペースを提供している。

(延べ利用日数：全体822日、鳥取県関連410日)

【活用例（鳥取県分）】

- ・らっきょう漬け方講習会、新麦で焼くお菓子づくり等の県産食品のPR
- ・大山ハム、すなば珈琲等の加工食品の試食販売
- ・鳥取西高校、米子工業高等専門学校、米子工業高校、米子東高校等の同窓会
- ・琴浦町、湯梨浜町、八頭町、岩美町等の市町村による物産展や移住・交流のイベント

(8) 観光・移住コーナー：2階

相談員が観光地や食、イベント等の両県の魅力をきめ細かく案内、移住の相談を受けている。

(延べ利用件数：全体4,322件、鳥取県関連2,600件)

(9) ビジネスセンター：2階

県内企業の首都圏における情報収集や販路開拓等の活動拠点として専用スペースを提供している。

(平成30年1月末時点での入居企業数は5社)

(10) 情報発信等

開館から首都圏マスコミ等への露出の累計 563件

(内訳：テレビ76件、ラジオ65件、新聞・雑誌等168件、WEB254件)

2 入館者からの声

※新橋館入館者アンケート結果（平成29年11月10日（金）、11日（土）実施：回答733人）

(1) 主なアンケート数値

- ・ショップに満足している 物販店舗：95.9% 飲食店舗：91.6%
- ・2回以上来店している（リピーター率） 59.5%
- ・最初にショップを知ったきっかけ 通りすがり62.3% ホームページ8.9%等

(2) 主な意見

- ・駅から近く便利であり、また来たい。
- ・店内が広々として清潔感があり、明るくきれい。
- ・もっと両県の良いところを発信して欲しい。
- ・野菜や果物等の商品が新鮮。
- ・もっと商品説明を増やして欲しい。
- ・レストランのメニューの数がもう少し欲しい。等

3 共同した取組による効果

- 鳥取県と岡山県の2県による共同運営ができたことにより、JR新橋駅の銀座口前の良好な立地条件に940㎡を超える広い店舗面積で設置でき、その中に物販店舗、飲食店舗、観光・移住コーナー、ビジネスセンター、催事スペースを設け、両県の情報発信・販路開拓の拠点として機能を発揮した。
- 日本海側と瀬戸内海側という異なった風土により、両県の強みのある特産品（パクチー、らっきょう、スイカ、マグロ、白桃、ぶどう、かに等）を切れ目なく首都圏へ情報発信でき、併せて、お互い補う形で年間通じて旬の美味しい特産品やその他の特産品（鳥取和牛、千屋牛、ジビエ等）を使った料理を首都圏のお客様に提供できたことにより、年間通じて一定レベルの集客を維持することができた。
- 2県が共同運営している強みを生かし、両県の特産品を用いた梨と桃をコラボした「ももてなしソフトクリーム」、梨とぶどうをコラボした「梨とぶどうのパフェ」といったヒット商品の販売、両県の特色を活かしたイベントや両県知事の販売促進活動等の魅力あるイベントによる差別化を図った情報発信で、相乗的に両県の知名度向上が図られた。
- これらの取組により、入館者の時期的な波の抑制や新規入館者の獲得が実現し、入館者年間50万人という高いレベルで推移した。

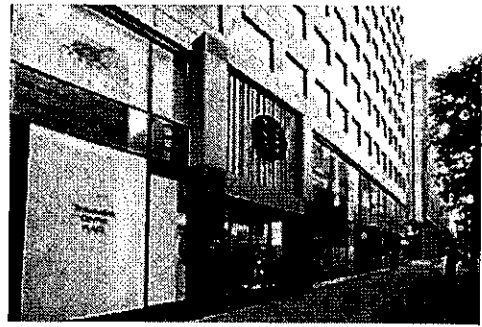
4 今後の進め方

平成31年3月末で運営事業者との委託契約及び不動産賃貸借契約の期限が到来することから、これまでの実績を踏まえ、首都圏において、さらなる販路開拓や情報発信に向けた取組を行うため、平成31年度以降においても現在の店舗で、岡山県との共同により首都圏アンテナショップを継続する方向で検討を進める。

首都圏アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」の取組状況について

1 概要

- (1) 住 所：東京都港区新橋一丁目11-7
新橋センタープレイス1、2階
- (2) 面 積：941.35㎡（1階354.01㎡、2階587.34㎡）
- (3) 設 置 者：鳥取県、岡山県
- (4) 設置時期：平成26年9月28日



2 設置の趣旨等

(1) 趣旨・目的

首都圏の消費者に、山陽と山陰の異なる歴史風土や歴史文化に培われた両県産の特色ある食材・食品その他の特産品を一堂に展示・紹介することにより、相乗的に顧客満足度の向上と産地側のアピール力の向上を図る。

アンテナショップを首都圏における両県産品や観光、移住等に関する総合的な情報発信の拠点として、観光客入込数の増加や県産品の販路拡大、IJUターンの促進等に資する。

(2) 主な機能

| | |
|-------------|---|
| ア 物販店舗 | 両県の優れた食材・食品その他の特産品の個性・魅力を展示・紹介・販売 |
| イ 飲食店舗 | 両県の旬の食材を使った料理、地酒の提供 |
| ウ 催事スペース | 両県の市町村や事業者、関係団体等が、それぞれの物産の製作実演や試食販売、独自の文化・芸能の公演、観光や移住に関するイベント等を開催 |
| エ 観光・移住コーナー | 両県の観光・移住等に関する説明・案内や情報提供、相談対応等 |
| オ ビジネスセンター | 両県企業の首都圏における情報収集や販路拡大などの活動拠点を提供 |

(3) 運営組織

物販店舗及び飲食店舗：株式会社稲田屋本店

催事スペース等：鳥取県・岡山県共同アンテナショップ運営協議会

3 利用状況

(1) 入館者数

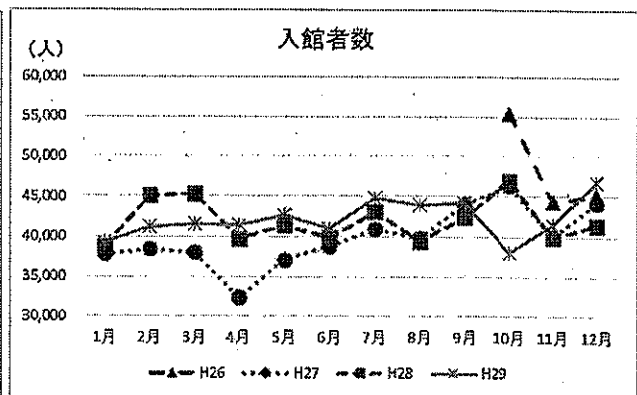
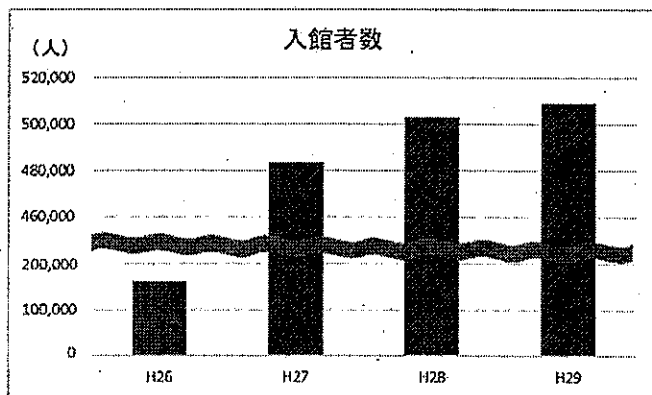
入館者は年間約50万人、月間約4万人前後で漸増している。

平成27、28年とも4月は入館者が落ち込んだことを踏まえ、平成29年4月には人気のあるイベント（マスキングテープフェア、バルコスフェア）を実施し落ち込みの波を押さえた。

平成29年10月の入館者数は、週末2度の台風で落ち込んだが、その後は例年を上回った。

※開館からの入館者の累計（平成29年12月末現在） 1,655,016人

| 区 分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 人 数 | 159,202人 | 483,400人 | 503,234人 | 509,180人 |



(2) 売上金額

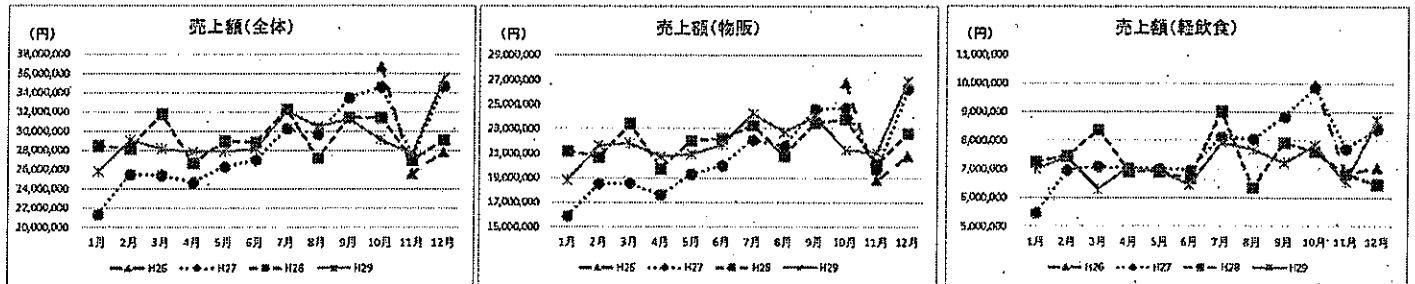
売上金額は年間3億5,000万円程度で推移している。

両県の強みのある特産品を切れ目なく提供していることから、年間通じて大きな波がなく販売できている。

※開館からの売上金額の累計(平成29年12月末現在) 1,151,606千円

(うち物販店舗 857,820千円、飲食店舗 293,786千円)

| 区分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 売上金額 | 101,206千円 | 343,661千円 | 351,500千円 | 354,692千円 |
| うち物販店舗 | 75,464千円 | 251,310千円 | 263,549千円 | 267,497千円 |
| うち飲食店舗 | 25,742千円 | 92,351千円 | 87,951千円 | 87,195千円 |



ア 1階 物販店舗の状況

新鮮な果物や加工食品など、常時約1,600品目を店内に陳列し、年間を通じて鳥取県と岡山県の旬を途切れることなく提供した。

◆売場面積：265.31㎡(チャレンジ商品特設コーナー(短期間の試験販売が可能)含む。)

◆営業時間：10時～21時

(ア) 登録取引事業者数・登録取引商品数(鳥取県分)

※平成26年9月28日～平成29年12月31日までの累計値

| 事業者数/商品数 | 内 訳 | | |
|----------|-------|---------|-------|
| | 生鮮品 | 加工食品 | 非食品 |
| 439社 | 78社 | 282社 | 79社 |
| 2,396品目 | 144品目 | 1,646品目 | 606品目 |

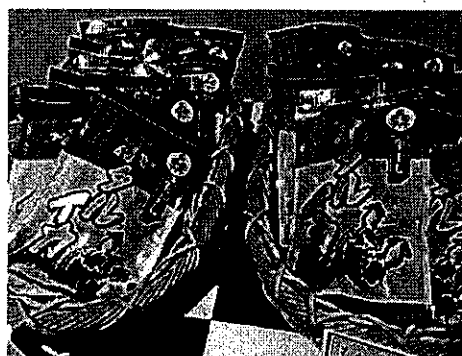
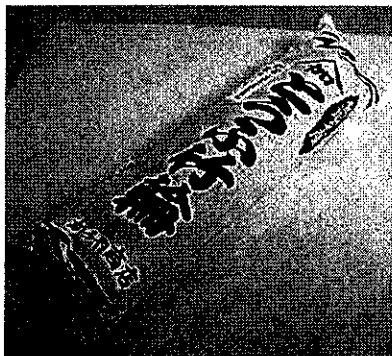
(イ) 取引商品数(鳥取県分) ※平成29年12月末現在

| 商品数 | 内 訳 | | |
|-------|------|-------|------|
| | 生鮮品 | 加工食品 | 非食品 |
| 735品目 | 42品目 | 594品目 | 99品目 |

(ウ) 人気商品(鳥取県分) ※平成29年12月分

| 順位 | 品 目 | 販売個数 |
|----|------------|------|
| 1位 | ポテトチップス珈琲味 | 813個 |
| 2位 | 干し柿 | 638個 |
| 3位 | とうふ竹輪 | 515個 |
| 4位 | 生干しホタルイカ | 444個 |
| 5位 | 北条あんぼ柿 | 361個 |

※「とうふ竹輪」、「生干しホタルイカ」は通年通じて人気のある商品



(エ) 主な特産品販売・フェアの例

| 区 分 | フェア概要 |
|-----|---------------------------|
| 1月 | 福袋 (大山ハム、備前焼等) |
| 2月 | 岡山野菜フェア |
| 3月 | レディースジーンズフェア、子どもデニムフェア |
| 4月 | マスキングテープフェア、バルコスパックフェア |
| 5月 | 根付きらっきょう、洗いらっきょう販売 |
| 6月 | 生らっきょう、スイカ販売、らっきょう漬け方講習会 |
| 7月 | 白桃販売、境港産直送本マグロ1本まるごと解体ショー |
| 8月 | 二十世紀梨販売、備前焼ピアマグ&ビール祭 |
| 9月 | 新甘泉販売、ニューピオーネ、シャインマスカット販売 |
| 10月 | 津山ファクトリーフェア (デニム、ネクタイ) |
| 11月 | 親がに販売 |
| 12月 | 干し柿販売 |

イ 2階 飲食店舗

「鳥取和牛」、「紅ズワイガニ」、「スイカ」、「梨」などの鳥取県を代表する食材を使った様々なメニューや限定スイーツ、鳥取県の猪肉と岡山県の鹿肉を使ったジビエフェアなど、旬の食材や特色のあるメニューを提供している。

◆店舗面積：98.36㎡ (席数50席)

◆営業時間：11時～22時

(ア) 提供メニュー例、鳥取県産食材

| メニュー | 主な県産食材 |
|------------------|-----------------|
| 紅ずわい蟹重 | ベニズワイガニ |
| 鳥取和牛の煮込みハンバーグ | 牛肉 |
| 大山どりのクリームドリア | 鶏肉、牛乳 |
| 大山ハムとソーセージの盛り合わせ | ハム、ソーセージ |
| ののこめし | 米、油揚げ、しいたけ、にんじん |

(イ) 特産品PRでの主なフェアの例 (提供メニュー)

| 区 分 | フェア (メニュー) 内容 |
|-----|--|
| 1月 | 正月限定商品 (小豆雑煮、ぶり雑煮) パクチーフエア (大山鶏のパクチーパン粉焼き、牛すじ肉とパクチーのソテー等) |
| 2月 | ジビエ料理フェア (シカロース煮、イノシシとキャベツのソテー等) |
| 3月 | 鳥取県産きぬむすめフェア |
| 4月 | ご当地バーガー食べ比べ (鳥取和牛バーガー、岡パクチキンバーガー等) |
| 5月 | 星取県コラボ企画オリジナルパフェ販売 (鳥取県産プリンスメロンパフェ) |
| 6月 | スイカフェア (スイカパフェ、スイカピザ等) 境港産直送本マグロフェア (鮪のお造り盛り合わせ、鮪の鉄火丼等) |
| 7月 | 白桃フェア (白桃パフェ、白桃コンポート&ジュレ、白桃レアチーズ等) |
| 8月 | ぶどうパフェ |
| 9月 | 梨とぶどうのパフェ (二十世紀梨、ニューピオーネ、シャインマスカット) |
| 10月 | ねばりっこ、パクチー料理講習会 |
| 11月 | 柿メニュー (柿のプリン、柿のタルト、柿とクリームチーズ等) |
| 12月 | カニフェア (紅ズワイ蟹握り、紅ズワイ蟹のリゾット、紅ズワイ蟹の生春巻き等) |

(ウ) 主な鳥取県と岡山県のコラボ商品

◆ももてなしソフトクリーム (二十世紀梨、白桃)

◆梨と桃のパフェ (二十世紀梨、白桃)

◆梨とぶどうのパフェ (二十世紀梨、ニューピオーネ、シャインマスカット)

4 イベント等

(1) 1階 プロモーションゾーン

入館者の反応や生の声を聞きながら販売する「直接販売」の他、観光・特産品のPRや学校の学習体験に利用できるスペースを提供している。

- ◆面積：5.00㎡
- ◆利用時間：10時～18時
- ◆利用料：2,000円/日

ア 利用日数（延べ利用日数：全体813日、鳥取県関連463日）

| 区分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 利用日数 (全体) | 68日 | 266日 | 256日 | 223日 |
| 利用日数 (鳥取県分) | 48日 | 158日 | 134日 | 123日 |

イ 活用例（鳥取県分）

- ・スイカ、梨等の旬の果物の試食販売
- ・するめ糍漬、二十世紀梨ゼリー、二十世紀梨ドライフルーツ等の加工食品の試食販売
- ・北条ワイン、ねばりっこの焼酎、ブルーベリーワイン等の試飲販売
- ・弓浜緋等の伝統工芸のPR販売
- ・倉吉農業高校、鳥取湖陵高校、米子南高校等による販売実習
- ・鳥取県商工会連合会、琴浦町、湯梨浜町等の県産品、観光地等のPR
- ・大山開山1300年祭、関金温泉開湯1300年等のPR

(2) 2階 催事スペース

物販やPRイベント、説明会などに使用できる多目的スペースを提供している。

- ◆面積：88.40㎡
- ◆利用時間：10時～20時
- ◆利用料：全日（10時～20時）の場合 県内・非営利 6,400円 県内・営利 12,800円

ア 利用日数（延べ利用日数：全体822日、鳥取県関連410日）

| 区分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 利用日数 (全体) | 55日 | 236日 | 271日 | 260日 |
| 利用日数 (鳥取県分) | 32日 | 121日 | 130日 | 127日 |

イ 活用例（鳥取県分）

- ・らっきょう漬け講習会、新麦で焼くお菓子づくり等の県産食品のPR
- ・大山ハム、すなば珈琲等の加工食品の試食販売
- ・因州和紙、弓浜緋等の伝統工芸のPR販売
- ・氷温セミナー、鳥取砂丘検定等の鳥取県に係わる学習の場
- ・鳥取西高校、米子工業高等専門学校、米子工業高校、米子東高校等の同窓会
- ・琴浦町、湯梨浜町、八頭町、岩美町等の市町村による物産展や移住・交流のイベント
- ・県観光連盟の観光情報説明会
- ・ふるさと鳥取県定住機構の移住相談会
- ・星取県、蟹取県等のメディア発表会

5 観光・移住等

(1) 2階 観光・移住コーナー

相談員が観光地や食、イベント等、両県の魅力をきめ細かく案内している。
移住相談の他、ふるさと納税に関する問い合わせにも対応している。

◆利用時間：10時～18時

ア 利用件数（延べ利用件数：全体4,322件、鳥取県関連2,600件）

| 区 分 | | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|---------------------|------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 利用件数 (全体) | 観光関連 | 216件 | 865件 | 1,211件 | 1,198件 |
| | 移住関係 | 40件 | 115件 | 128件 | 98件 |
| | その他 | 56件 | 116件 | 151件 | 128件 |
| | 計 | 312件 | 1,096件 | 1,490件 | 1,424件 |
| 利用件数 (鳥取県 関連) | 観光関連 | 141件 | 507件 | 763件 | 761件 |
| | 移住関連 | 11件 | 40件 | 52件 | 35件 |
| | その他 | 31件 | 82件 | 90件 | 87件 |
| | 計 | 183件 | 629件 | 905件 | 883件 |

イ 主な相談内容

(ア) 観光関連

- ・先日のテレビ番組で鳥取の星空がとても綺麗と知り、鳥取へ旅行しようと考えている。砂丘の他に観光地はどこが良いのか？(60代女性)
- ・相談窓口の大型スクリーンで大山の映像を見てとても興味を持った。場所はどこか。(60代女性)
- ・大山開山1300年祭に関心があり、大山に関する情報が欲しい。(60代女性)
- ・(岡山県出身者) 帰省の際に岡山県近郊を観光で巡っている。鳥取で子どもの楽しめるような場所を教えて欲しい。(40代女性)
- ・妻木晩田遺跡、上淀白鳳の丘展示館等、旅行前に情報を詳しく教えてもらったので効率良く回ることができた。石馬や岩屋古墳まで見ることができ感激した。アンテナショップで相談してとても良かった。(50代男性)

(イ) 移住関連

- ・仕事の関係で鳥取へ出張したことがあるが、土地柄がとても気に入ったので移住したいと思うが仕事はあるのか？(50代男性)
- ・現在、関東地方で仕事をしているが住み慣れた中国地方に移住を考えている。定年後に移住するかその前に仕事を見つけ移住するか検討中。物価や就職先はどうなのか？(50代男性)
- ・子どもの中学校進学に合わせて鳥取(智頭町)への移住を考えている。鳥取へ行き事前確認・準備を行いたいので、エアサポートを利用したい。(40代女性)

6 ビジネス支援等

(1) 2階 ビジネスセンター

県内企業の首都圏における情報収集や販路開拓等の活動拠点として専用スペースを提供している。

◆1区画3.3㎡のレンタルブース(両県各8ブース)

◆机、椅子、デスクサイドワゴン、専用ロッカー

ア 利用件数

開館からの利用延べ企業数(鳥取県分) 18社(うち長期利用 12社 短期利用 6社)

| 区 分 | 3年超利用 | 3～1年利用 | 1年未満 | 短期(1日以下) |
|-------|-------|--------|------|----------|
| 利用企業数 | 2社 | 10社 | 0社 | 6社 |

※平成30年1月末時点での入居企業数は5社

7 情報発信等

ア 開館から首都圏マスコミ等への露出の累計 563件（把握できたもの）
（内訳：テレビ76件、ラジオ65件、新聞・雑誌等168件、WEB254件）

| 区分 | 平成26年 (9月～12月) | 平成27年 (1月～12月) | 平成28年 (1月～12月) | 平成29年 (1月～12月) |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| マスコミ露出件数 | 38件 | 230件 | 130件 | 165件 |

イ メールマガ登録・ホームページ閲覧件数等（平成29年12月現在）

| 区分 | 件数 |
|---------------|------------|
| ホームページ閲覧数 | 2,464,534件 |
| ダイレクトメール送付登録数 | 4,923件 |
| メールマガジン登録数 | 2,000件 |
| Facebook いいね数 | 4,805件 |

ウ 主な番組等

(ア) テレビ

フジテレビ「めざましテレビ」、日本テレビ「ニュース エブリィ」「ヒルナンデス」、
テレビ朝日「スーパーJチャンネル」、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」等

(イ) 新聞、雑誌

読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、日本経済新聞、東京新聞、日本農業新聞、
オレンジページ、旅の手帳、東京人、大人の週末、メトロガイド、旅行読売等

8 入館者からの声

※新橋館入館者アンケート結果（平成29年11月10日（金）、11日（土）実施：回答733人）

(1) 主なアンケート数値

○ショップに満足している

〔物販店舗 95.5%（品揃え、価格、店員の対応、店内の雰囲気）
飲食店舗 91.6%（メニュー、味、価格、店員の対応、店内の雰囲気）

○2回以上来店している（リピーター率） 59.5%

○最初にショップを知ったきっかけ

〔・通りすがり：62.3% ・ホームページ：8.9% ・テレビ等：8.5% ・口コミ：5.8%
・SNS：2.6% ・ダイレクトメール：1.3%

(2) 主な意見

ア 店舗全体

- ・駅から近く便利であり、また来たい。
- ・店内が広々として清潔感があり、明るくきれい。
- ・もっと両県の良いところを発信して欲しい。
- ・二つの県が一緒になっていて、同時に商品が見られて楽しい。
- ・鳥取、岡山を好きになるきっかけが新橋館だった。
- ・大きな看板等があれば良いのではないかな。
- ・新しい特産物やふるさと納税の情報を充実させてはどうか。

イ 物販店舗（1階）

- ・野菜や果物等の商品が新鮮。
- ・もっと商品の説明を増やして欲しい。
- ・他のアンテナショップと比べ品揃えが豊富で、歩きやすく商品が見やすい。
- ・イートインコーナーで一休みできるのは良いが、コーナーで食べられるものの種類をもう少し増やして欲しい。
- ・お土産のようなものばかりで、普段づかいのものが少ない。
- ・試食、試飲を増やすと良い。
- ・鳥取、岡山といたらこれ、といった商品を定期的に前面に押し出して欲しい。

ウ 飲食店舗（2階）

- ・レストランのメニューの数がもう少し欲しい。
- ・レストランは個性的、アイデアがあり良い。

平成30年2月26日
食のみやこ推進課

鳥取県では、平成24年度に「いなばのジビエ推進協議会」（当時は連絡協議会）が立ち上がり、これまで県東部を中心にジビエ活用の取組が進んできましたが、昨今、県中西部において、料理人などを中心にジビエ活用の機運が高まる中、県中西部におけるジビエ振興組織「ほうきのジビエ推進協議会」が下記のとおり設立されました。また、「とっとりジビエ」の全県展開に併せ、首都圏及び鳥取県内の飲食店でレストランフェアを開催します。

記

1 「ほうきのジビエ推進協議会」の設立について

(1) 協議会の概要

ア 目的

県中西部地域において捕獲された猪・鹿の消費拡大を図るため、川上（狩猟者、解体処理施設等）から川下（飲食店等）までが連携して、ジビエの認知度向上や消費拡大に向けた取組等を実施する。

イ 構成

料理人（全日本司厨士協会米子支部、鳥取県調理師連合会惣和会等）、ジビエ解体処理施設（日本猪牧場、緑水園、大山ジビエ振興会（建設中））、狩猟関係者（猟友会等）、県、市町村、商工団体など（計45団体）

ウ 役員等

会長 ^{すがはら あきお}菅原 昭雄氏（全日本司厨士協会米子支部長） ほか理事6名（解体処理施設・狩猟関係者等）

コーディネーター 兼 事務局長 ^{おぎの ゆうこ}荻野 裕子氏（元 琴浦町地域おこし協力隊員）

エ 事務局：西伯郡大山町田中817（大山町旧林業振興センター内）

オ 設立日：平成30年2月13日（火）

カ 活動内容：ジビエの普及促進、飲食店等への販路開拓、解体処理者育成研修等の実施、イベントでのジビエPR等

(2) 設立記念式典・祝賀会の開催等について

「ほうきのジビエ推進協議会」の設立に併せ、県中西部においてジビエ活用の機運を更に高めるため、先進事例を紹介するセミナーを開催するとともに、県内料理人によるジビエ料理を披露する祝賀会を開催しました。

ア 日時：平成30年2月13日（火）

イ 会場：ANAクラウンプラザホテル米子（米子市久米町53-2）

ウ 内容

・「とっとりジビエ全県展開推進セミナー」

ジビエ活用の先進事例として、和歌山県古座川町の「古座川ジビエ振興協議会」（第4回ディスカバー農山漁村の宝（内閣官房・農林水産省）ジビエグルメ受賞団体）、県東部の「いなばのジビエ推進協議会」の取組を紹介しました。

・「ほうきのジビエ推進協議会」設立記念式典・祝賀会

ジビエ活用に取り組む県内料理人（全日本司厨士協会米子支部（洋食）、鳥取県調理師連合会惣和会（和食））にジビエ料理を披露していただくとともに、新たに作成した「とっとりジビエ」ブランドロゴマークのお披露目を行いました。



（副知事、県議会議員、中西部の市町村長、ジビエ関係者、料理人関係者、一般消費者等約100名が参加）

2 「とっとりジビエ」レストランフェアの開催等について

(1) 首都圏でのレストランフェア

ア 期間：平成30年2月9日（金）～2月28日（水）

イ 実施店舗：都内イタリアン・フレンチレストラン12店舗

ウ 特色など

- ・うち半数の6店舗が「ミシュランガイド東京」で星付きのレストランです。
- ・うち3店舗は、昨年度に引き続いての参加であり、フェア以外の時期でも鳥取県産ジビエを使用するなど、「とっとりジビエ」が首都圏のレストランで定番化しています。

(2) 県内でのレストランフェア

ア 期間：平成30年2月14日（水）～3月4日（日）

イ 参加店舗：県内飲食店20店舗

ウ 特色など

- ・県中西部も含めた全県でのジビエレストランフェアの開催は今回が初めてとなります。
- ・対象店舗で食事をされた方の中から、抽選で20名にジビエ関連商品をプレゼントします。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成30年2月26日
農地・水保全課
水産課

【新規分】

| 主務課 | 工事名 | 工事場所 | 契約の相手方 | 契約金額 | 工期 | 契約年月日 | 工事内容 | 摘要 |
|-------------------------|-------------------------------------|------------|-----------------------------|--|-------------------------------|------------|--|---|
| 農地・水保全課 (中部総合事務所農林局) | 天神野地区地域ため池(中 尾原ため池)改修工事(その 1) | 倉吉市 鴨河内 | 株式会社 デュエーブ 代表取締役社長 小柴 雅央 | 160,812,000円 (設計額 172,804,320円) 落札率 93.06% | 平成30年1月26日 ~ 平成30年10月9日 | 平成30年1月26日 | 【工事内容】 ため池改修工事 埋体工 掘削工 V=11,224m ³ 盛土工 V=12,815m ³ 堤体改良工 V=3,224m ³ 取水施設工 底層工 L=87.5m 土砂吐グート工 1基 付帯工 1式 仮設工 工事用道路設置撤去、水替工 1式 | 制限付一般競争入札 7社 平成30年1月16日 開札 |

【変更分】

| 主務課 | 工事名 | 工事場所 | 契約の相手方 | 契約金額 | 工期 | 契約年月日 | 工事内容 | 摘要 |
|-------------------------|--------------------------------------|-------------------|--|---|--|---|---|----|
| 農地・水保全課 (西部総合事務所農林局) | 平成28年炎下牧屋ダム施設 災害復旧工事(201/50) | 日野郡 江府町 下牧屋 | 平成28年炎下牧屋ダム施設災害復 旧工事(201/50) 美保テクノス・みどり建設特定建設工 事共同企業体 美保テクノス株式会社 取締役社長 野津一成 | (当初契約額) 164,700,000円 (第1回変更後契約額) 153,492,840円 〔 変更額 〕 〔 Δ11,207,160円 〕 | 平成28年5月29日 ~ 平成30年2月15日 (変更後工期) 平成30年3月20日 | (当初契約年月日) 平成29年5月26日 (第1回変更後契約年月日) 平成30年2月2日 | 貯水池法面災害復旧工事 (237) 台船塗装工 土砂 V=441m ³ (117) コンクリート投 V=48m ³ (567) 法面保護工 法枠 L=869m (654) モルタル吹付 A=348m ² (428) 布製型枠(台船:水中施工) A=246m ² (-) N=140袋 袋詰玉石(台船:水中施工) (119) アンカー工 鉄筋挿入(L=3m/本) 111本 仮設工 1式 ○変更内容 (工事内容) 掘削に伴う法面の土質変更並びに不可視部(水中部)の法 面勾配の変更等による法面保護工法の変更に伴う減額。 (工期延期) 1月の降積雪により、水田に設置した作業ヤードの復旧(仮 設土の撤去と水田復旧)に期間を要することによる工期延期。 | |
| 水産課 (管轄課) | 境港市高度衛生管理型市場 整備事業陸送上屋新築工事 (建築) | 境港市 昭和町 | 境港市高度衛生管理型市場整備事 業陸送上屋他新築工事(建設) 大松建設・大松組・岩崎組特定建設 工事共同企業体 大松建設株式会社 代表取締役 松浦啓介 | (当初契約額) 1,851,120,000円 (第1回変更後契約額) 1,826,136,520円 〔 変更額 〕 〔 Δ24,983,480円 〕 | 平成28年12月20日 ~ 平成30年10月31日 | (当初契約年月日) 平成28年12月19日 (第1回変更後契約年月日) 平成30年1月23日 | 【工事内容】 陸送上屋新築工事 ○構造規模:PCaPC造2階建 延床面積 3,810.20m ² ○上工事に伴う外構工事 ○主な変更内容 (杭工事) 地下水位が高いため必要となる崩落対策工事等のための増 ・〔撤去工事〕 新設建築物の基礎等に干渉する中埋設物の撤去のための増 ・〔既設コンクリート工事ほか〕 各種仕上等の変更及び取りやめによる減 ・〔共通仮設費他〕 仮設敷板敷設範囲の追加等による増 | |